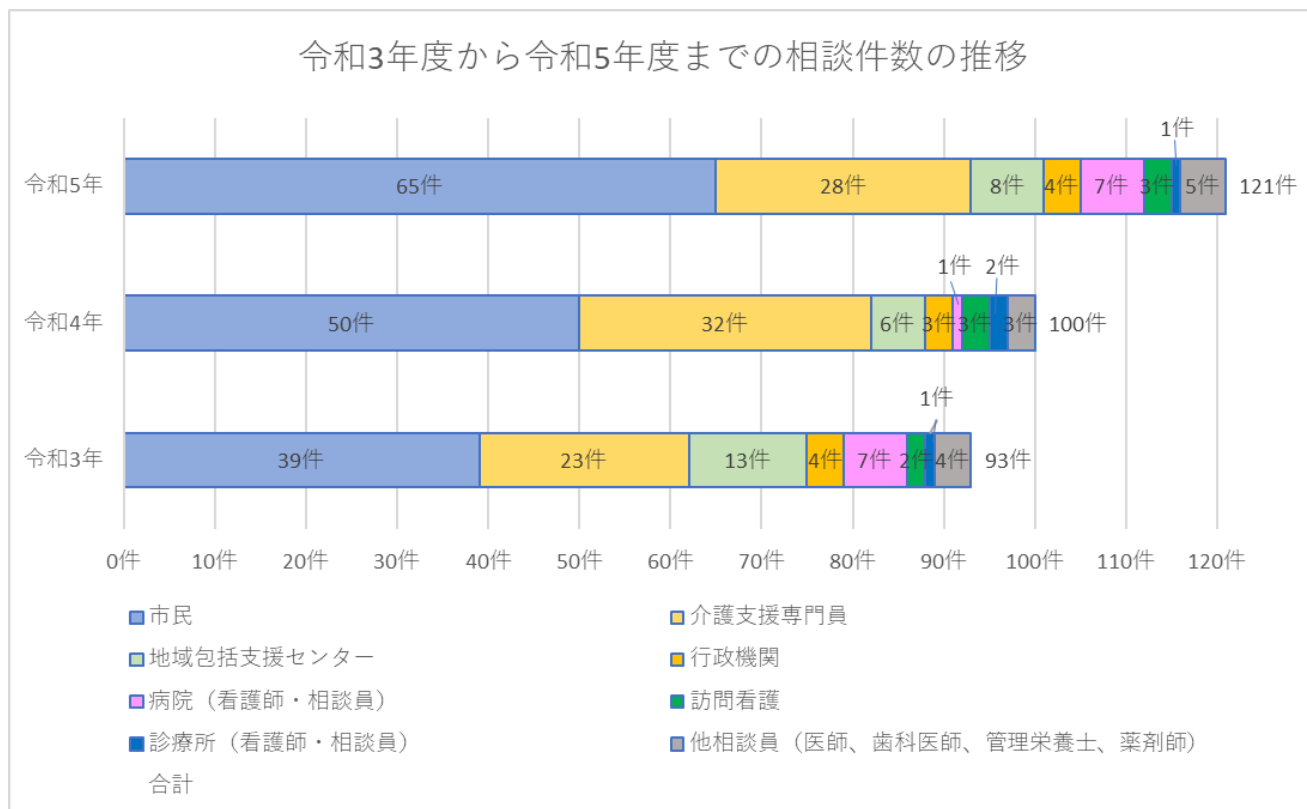


多摩市高齢者在宅療養支援窓口の令和 5 年度実績報告及び令和 6 年度活動計画

1.

(1) 令和 3 年から令和 5 年度までの相談件数の推移

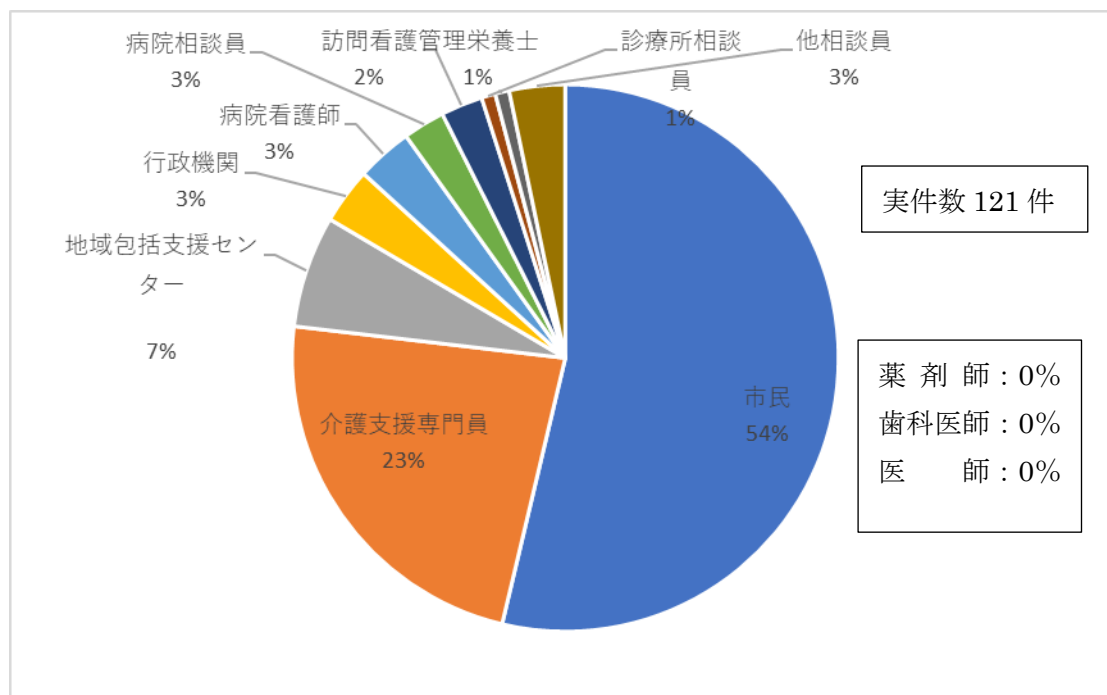


*令和 3 年度から相談件数は毎年増加し、令和 5 年度は前年度より 21%の増加。

特に、市民への講座開催、医師会ホームページリニューアル、たま広報への掲載などで市民直接相談が増加している。

専門職では、介護支援専門員の増加引き続き多いが、病院連携室の相談員や看護師からの相談も増加している。多職種からの相談あり、認知度があがっていると考え

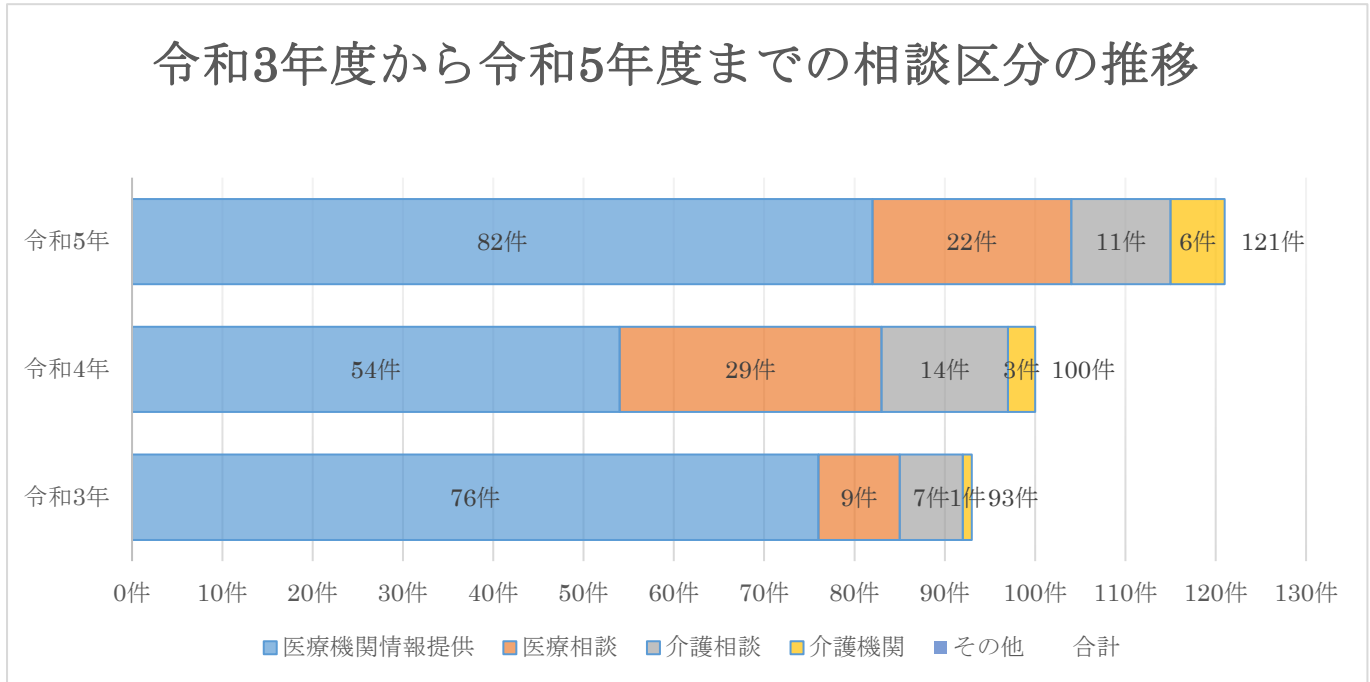
(2) 令和 5 年度相談実績報告



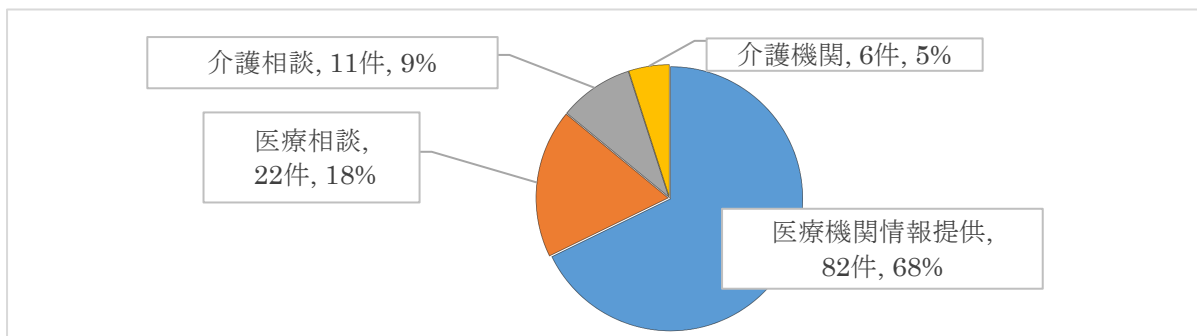
職種別相談者実数内訳

- ・医療介護関係者46%と市民からの相談が54%に増加
- ・病院看護師や相談員からの相談が増加している。
- ・今まではなかった管理栄養士からの相談依頼があり、多職種への周知がされてきたと感じる。

(3) 令和3年から令和5年度までの相談内容の推移



【詳細内容】



- ・医療機関情報提供・・・市民、専門職ともに訪問診療や専門の診療科に関する紹介
認知症と内科や外科などの複数科受診紹介。緊急往診調整依頼もあり。
 - ・疾患に関する内容、医療相談・・・在宅療養、終末期医療、ACP意思決定支援についてなどの相談
 - ・介護相談・・・介護保険サービス等の利用に関すること、地域包括支援センターの紹介等
- 年により変動はあるが医療機関情報提供が一番多い。ついで医療相談で専門的な療養やACPについての相談も一定数ある。医療機関情報はホームページなどで見れる人も増えている。

2. 令和5年度 多摩市高齢者在宅療養支援窓口 活動報告

<令和5年度の活動実績>

項目	実績	傾向	課題
① 相談窓口周知	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会ホームページ上で窓口案内ページをリニューアルした。多摩広報紙に在宅療養支援窓口が掲載 ・コミュニティセンター、認知症カフェ等で在宅医療やACPについての講演等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの相談が増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や療養窓口の認知度も少しずつ向上はしているが、在宅医療について問い合わせある。 ・入退院の増加、在宅療養の質の向上から、今後様々な相談が増加すると考えられる ・相談内容は多様化しており、直接医療機関への連絡や橋渡しも必要になっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に介護支援専門員部会勉強会実施（テーマ：ACPと介護支援専門員の役割について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員の相談が増加 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口ニュースを6月・12月に発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症や看取りについての相談が増加。 	
② リスト更新	<ul style="list-style-type: none"> ・病院相談窓口一覧表以外に、訪問看護ステーションリスト、他科併用医療機関リスト（内科と認知症等）を更新、ホームページ上で閲覧可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員部会や介護保険事業者連絡会などで周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職からも併用医療機関の紹介依頼が多い。緊急時往診依頼や緊急入院の依頼なども増加している。 ・医師会のホームページの情報活用が必要
③ 連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会と訪問看護ステーション連絡会を企画・運営。連絡会は年2回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔が見える関係が強化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携や災害時等の情報共有などでICT（MCS等）の活用がさらに必要になる。
④ 近隣市連携	<ul style="list-style-type: none"> ・5市（稲城・日野・八王子・町田・多摩）の窓口連絡会を年2回実施。MCSを利用し継続相談する。 ・取り組みを6月在宅医療連合学会で発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣5市MCSグループの利用で、速やかに相談対応出来る体制が整ってきている。 ・市境の方の診療紹介依頼がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市境の方の相談が困難
⑤ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急往診への対応実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急入院紹介依頼時には、窓口が病院への橋渡しをすることで、即日入院可能になったケースもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療依存度の高いショートステイや、当日緊急往診依頼などがある。

3. 令和6年度の計画

	項目	実施内容	実施時期・回数
① 相談 窓口 周知	<ul style="list-style-type: none"> ・周知活動や広報の方法を検討。 ・窓口ニュースの内容、ホームページ内容充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の窓口ニュースの発行を継続。 ・医師会ホームページの内容を修正。 ・市民向けの在宅療養について講演会等を実施。 	6・12月 秋 未定
② リス ト更 新	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプロ等への掲載で周知。支援者向けに特化した周知活動を実施。 ・在宅医療リストを活用できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院相談窓口一覧表、訪問看護ステーションリスト、他科併用医療機関リスト(内科と認知症等)の更新と、利用方法の周知。 	年1回 6月～8月
③ 連携 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・連携強化のための顔の見える関係づくりの支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療リスト作成し、訪問診療往診可能リスト更新。(ホームページ上で閲覧) ・医師会と訪問看護ステーションの連絡会を企画・運営。連絡会は年2回実施。 	5月 6・11月
④ 近隣 市連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣5市の継続的な連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5市(稲城・日野・八王子・町田・多摩)の窓口連絡会を年2回実施。MCSを利用し継続相談する。 	5・11月